



“積極進取！”



～ 地域の皆さまに感謝 !! ～

日頃から地域の皆さまには感謝してもしきれない程お世話になっています。特にグラウンドから吹き上げる砂埃や学校行事等でする音量など、時々お叱りの電話等を受けたりしています。学校としてもご迷惑をおかけしていることは十分承知していますが、完璧な対策を取ることが困難です。地域の皆さまにはいろいろと我慢を強いていることが多々あると思いますが、何とかご理解とご協力を承っているのが実情です。

先日(9月3日)、地域の方(匿名)からお手紙をいただきましたのでここで紹介します。



那覇高校の皆様へ

突然のお手紙失礼いたします。私は近所に住む者ですが、現在の難しい状況の中で地域を支えるお仕事が続けてくださっている先生方、職員の皆様へ感謝をお伝えしたくてお手紙を差し上げました。

学校のお仕事は平常時でも細やかな配慮や辛抱が必要と思いますが、今は感染症対策やいろいろなスケジュールの変更など、いつもに増して大変なことと思います。本当にお疲れ様です。

直接的なご支援ができず歯がゆいのですが、私が普段から心の支えにしている言葉があるので、次のページで少し紹介させていただきます。少しでも心の癒やしになれば幸いです。

(次ページ)

「あらゆる勤勉な働きには価値がある」

…直接的にも間接的にも生徒さんや保護者の方々を支えておられる皆さんに本当に感謝しています。

「正しい人は7回倒れても、また立ち上がる」

…コロナウイルスの影響で、進路や毎日の生活で壁にぶつかっている高校生がたくさんおられると思います。

理想的とはいえない現実を受け入れるのは時間がかかりますが、大切なのはまた立ち上がること、と教えている言葉です。

那覇高校の皆さんが今の難しい状況を乗り越えられよう、心から応援しています。(原文のまま)

感謝を込めて
—市民より

このお手紙を拝見してとても心が震えました。私たち那覇高校の職員として、これほどありがたい言葉はないと思います。

那覇高校は今年110周年を迎える伝統ある学校です。戦前、戦後と沖縄県の学びの府としてその役割を果たしてきたと自負しておりますが、そこにはその学びを支え、沖縄の将来を担う人材育成に期待をしている地域の皆さまのお力添えがあつてのことだと思っております。私たち職員はこのことを深く認識し生徒と共に精進していきたいと思っております。 校長

*** 校長雑感 ***

家庭の事情で3歳頃から祖母に育てられた。中学生の頃、私の友人からの電話を祖母が取り「源三電話！」と言って、間違って“ガチャッ”と切ってしまう少しお茶目な祖母だった。沖縄戦で夫を亡くし、女手ひとつで4人の子供を育てあげた。沖縄戦の映像を見る度に“よくぞ命をつないでくれた”と感謝している。敬老の日には今は亡き祖母を想い毎年過ごしている。

～ 凄いぞ！那覇高生の感性!! ～

前号で少し触れましたが、

「English Speech Contest」は、感染防止のため動画撮影による審査となりました。本来ならば聴衆の面前で行われますが仕方ありません。私はその動画をすべて見ましたが、内容、表現力及び発想力等はレベルが高く、感動的で全校生徒に聞かせたかったです。

今回の本戦は3年生5名、1年生1名で行われました。1位の福地彩生と2位の大城希志穂は県スピーチコンテスト派遣、3位の金城晴奈はキリスト教短期大学のスピーチコンテストへ派遣されます。入賞は逃しましたが、1年生ながら果敢に挑戦した上原由理佳の姿勢は素晴らしいと思いました。

校内弁論大会は各学年より3名が選出され、9名の論文が書類選考されました。最優秀賞は3年の知念茅友楽、優秀賞は2年の上原愛音が受賞しています。最優秀賞は県大会の派遣が決まっています。

このように那覇高生は様々な分野でその能力を発揮し、自らのキャリアを形成しています。県大会等でも頑張ってください。 校長

～ 学びの基礎診断! ～

8日(火)に1, 2年生は学びの基礎診断を受けました。それは義務教育段階の学習内容を含めた高校生に求められる基礎学力の確実な習得とそれによる高校生の学習意欲の喚起を図るため、高校段階での生徒の基礎学力の定着度合いを測定する民間の試験等のことをいいます。

生徒たちの自己採点の様子を見ていると“まあまあできた”や“ヤバい”とつぶやく生徒など様々でした。大切なことは自分の現状を知り、それをどう活かしていくかです。“やりっぱなし”にせず、何ができて何ができていないのかを冷静捉え自学に結びつけることが肝要です。 校長